



大谷教師塾 教員養成ナビゲーター

大谷大学
教職支援センター

第132号
2023. 11. 20

3年生に聞きました 《こんな先生になりたい!》

《知識が豊富でプレゼン能力が高く児童理解力のある先生》 教育学部・教育学科 大向 隼

私が目指す教師像は、①知識が豊富な先生②伝える力、プレゼン能力が高い先生③児童を深く理解できる先生である。まずは、児童に対しても教科に対しても知識がないと児童と向き合い授業を行うことができないだろう。そしてその知識を伝える力がないと児童のためにはならないだろう。分かりやすく説明する力が重要である。そして、児童理解は3つの中でも一番重要であると思う。どのような児童がいてどのような特性があるのか必ず知っておくべきだろう。これらの力をもった先生に私はなりたい。

《柔軟な考え方ができる先生》

教育学部・教育学科 糟谷 朱那

私の目指す教師像は、児童にとって明るく何事にも柔軟な考え方ができる先生です。現在の学校は、ICT機器を活用した授業など今までと変わってきています。そうした変化に対応して児童にとって面白く深い学びを提供できる授業を展開したいです。私は6年間の部活動で培った協調性をチーム学校に活かして、先生同士で協力して学校行事などに積極的に取り組みたいと思います。

《児童から信頼される先生》

教育学部・教育学科 岡尾 茉優

私は児童から信頼される先生になりたい。小学校は様々な家庭環境に育ち、様々な価値観をもつ子どもが集まる場である。児童同士が自分らしさを見失わず互いを認め合って成長していくためには、安心できる存在が必要だ。私は児童との交流を大切に、一人一人と向き合うことのできる先生になりたい。

《児童の気持ちに寄り添える先生》

教育学部・教育学科 平田 琉威

私の目指す教師像は、児童の気持ちに寄り添える先生です。児童が抱える悩みや不安に正面から向き合い対応できることはもちろん、喜びや嬉しさなどの気持ちにも一緒になれる先生になりたいです。そうすることで先生と児童の信頼関係がより深まり、クラスとしても一体感が生まれると思います。そのために普段から児童との関わりを大切にして話しやすい雰囲気を作っていこうと思います。

《児童の心の寄りどころとなる先生》

教育学部・教育学科 橋口 亜衣

私は児童の心の寄りどころとなる先生になりたい。それは私の恩師がまさにそのような先生だったからだ。学校の中に児童にとって心の支えとなる居場所をつくりつつ、「先生がいるから独りじゃない、明日も学校に行こう」と児童から思われる存在に私はなりたい。

《児童と共に成長できる先生》

教育学部・教育学科 廣瀬 あゆか

私は、児童の心に寄り添い共に成長できる先生になりたい。私は小学生の頃、頼れる大人が当時は学校で見つけにくく、児童館の先生が寄り添ってくれていた。その経験から、先生は教えることだけではなく児童の心の寄りどころでもあるべきだと考える。単に知識や経験を身につけさせるだけでなく思いやりや温かい心を育てたい。そして児童から学び、自分自身も成長し続けていきたい。

《児童から認めてもらえる先生》

教育学部・教育学科 村上 凜

私は児童から認めてもらえる先生になりたいと考えている。児童から「何でも相談できるし、授業も楽しいし、この先生好きだな」と思ってもらえるような存在になりたい。ただ単に好かれるだけでなく、児童から信頼されるような関係を築き、自分自身でも先生であることを誇ることが出来るようになりたい。そのために、大学生活では自分の将来の教師像をイメージしながら、何事にも積極的に取り組む努力をしている。

《児童に寄り添える先生》

教育学部・教育学科 大平 未来

私は、児童に寄り添える先生になりたい。学級には不安や苦しみ、悩みを抱え込んでいて中にはそれを口に出せない児童も見られる。私はそうした児童の細かな変化に気付き、親身になって話を聞きたい。そして、みんなが安心できる学級づくりを行い信頼される先生を目指していきたい。

《児童と向き合える先生》

教育学部・教育学科 遠藤 愛加

私は児童一人一人ときちんと向き合える先生になりたい。登校しにくい時期があった私を学校に導いてくれた恩師のように、児童の個性や悩みを見極め「この先生がいるから学校に行っても大丈夫」と児童が思ってくれる先生になりたい。小学校での素晴らしい出会いや経験が将来輝いてくれることを願って、真正面から児童と向き合っていきたい。



《児童の能力を伸ばせる先生》

教育学部・教育学科 河合 翔平

私は、児童一人一人に目を向け将来のために必要な学びや能力を伸ばせるような先生になりたい。クラス全員の児童を把握し、一人一人に個別最適な学びを提供する必要がある。そのためには、クラス内のことや授業の分かりやすさなどを児童から定期的に聞き取り、自分自身も子どもと一緒に成長していける先生でありたいと思う。

《児童一人一人に寄り添う先生》

教育学部・教育学科 嵐本 愛

私は、児童一人一人に寄り添う先生になる。それは私の恩師が一人一人と向き合い信頼し合う学級を作っていたからだ。多様性が尊重されるようになった時代で、一人一人の個性を認め、互いに高め合って成長する学級を作る。そして、精神的にも肉体的にも最も成長する小学校期に、個に応じた最適な学びを提供し続ける教師でありたい。

《楽しい授業ができる先生》

教育学部・教育学科 中野 隆希

私は児童の興味を引き出し楽しい授業ができる先生になりたい。私が先生を目指したいと思うきっかけをつくってくれた先生が私の理想像である。その先生は授業中と休み時間の両方を楽しませてくれる、「楽しい」を使い分けることができる先生で、児童からの信頼もあった。私も学習面でも遊びの面でも両方で児童に認めてもらえるような先生になりたいと心の底から思う。

《児童と一緒に楽しめる先生》

教育学部・教育学科 山内 陽咲

どんなことでも児童と一緒に楽しめる先生に私はなりたい。学校行事だけではなく、毎日の授業や休み時間など日常の学校での時間が児童にとって楽しい思い出となるようにしたい。そのためには、児童が楽しいと感じて笑顔で過ごせるためにはどうしたらよいのか。児童が難しい課題を一生懸命考えて解決し達成感を感じるにはどのような授業づくりが求められるのか。先生としての責任を十分に果たして、児童と一緒に楽しめる先生を目指す。

《生徒の個性や特性などを理解できる教師》

文学部・歴史学科 田村 颯汰

私の理想の教師像は、生徒一人一人とコミュニケーションをしっかりと取り、生徒の個性や特性などを理解できる教師です。自分が教師を目指すきっかけとなったのが中学生の頃の部活の顧問の先生です。この先生のように、自分の得意とする競技でなくても研究や練習をして、生徒にスポーツの楽しさなど様々なことを伝えられる教師になりたいと考えています。

《児童の未来をつくれる先生》

教育学部・教育学科 村上 明優

私は、児童の未来をつくれる先生になりたい。現代において児童は「私には夢がある」と答えることは少なく思える。教育によって児童の個性を引き出し、その可能性を高めていくことで、「私には夢がある」と答える児童を増やして一人一人の未来をつくることを手伝いたい。そして一人一人のアイデンティティを大切にしたい明るく過ごしやすい学級をつくっていききたい。

《児童の心に寄り添える先生》

教育学部・教育学科 安田 寛太

私は、児童の心に寄り添える先生になりたい。児童にはそれぞれ個性があり、より良い関係を築いていくためには、ただ関わっていくだけでは十分でないと思う。一人一人との関わりを大切に、コミュニケーションをとっていくことが必要だと思う。

《児童に寄り添い共に成長する先生》

教育学部・教育学科 山内 脩也

私は児童一人一人に寄り添って、この先生と一緒に成長しようと思われるような先生になる。人間は生きていくうえで何かしらの不安や悩みを抱えている。そうしたことが目に見える児童もいるが、中には他には感じさせない児童もいる。一人で解決できる悩みもあるかもしれないが、児童と関わる身近な大人として、しっかりと児童に寄り添い、共に成長できる先生になる。

《児童が一番に相談する先生》

教育学部・教育学科 安部 夏海

私は、児童が困った時に一番に相談してくれる先生になりたい。学校ボランティアや介護等体験で褒めていただいた「笑顔」という私の強みは、児童と接する時に安心感を与え、信頼関係を築いていくことに繋がると考える。「あの先生なら私の話を聞いてくれる」「私の気持ちが分かってくれる」と児童が思えるような先生に私はなりたい。

《児童の挑戦をサポートできる先生》

教育学部・教育学科 中條 こころ

私は、児童の挑戦をサポートできる先生になりたい。児童が「やってみたい」と思ったことに挑戦することには勇気がいると思う。しかし、そこに先生のサポートが入ることで、様々なことに挑戦しやすくなるのではないかと考えた。やってみたいと思った多くのことに挑戦を支援することで、児童が実行することへの自信と勇気を持たせたい。このように、児童と一緒に挑戦することを大事にし、もっと新しいことに挑戦したいと感じる児童を増やしたい。



《生徒の相談相手になれる教師》

文学部・歴史学科 山田 麻裕

私は、中学生時代に担任の先生に相談をしに行ったり、担任の先生が気にしてくれて話をしたことで困っていたことが解決したりしたことがあった。私もこのように困っている生徒を助けられるような教師になりたいと思ったことが教師を目指すきっかけの一つであった。

私は、生徒と積極的にコミュニケーションをとり、生徒が困った時は相談してくれたり、私自身が生徒が困っていることに一早く気づけたりするような教師になりたい。

《生徒に挑戦する楽しさ、大切さを伝える教師》

文学部・歴史学科 中松 秀樹

私の理想の教師像は新しいことに挑戦する楽しさや大切さを伝えることができる教師です。私自身、新たなことに取り組むことが好きで、様々なものに積極的に飛び込んできたことで新しい自分や素敵な人たちと出会うことができました。生徒は新しいものに触れる機会が多いと思います。その機会から生徒が自分の目標に出会う姿を見たいです。

《生徒のために問い続けられる教師》

文学部・歴史学科 米澤 征希

私は生徒のために問い続けられる教師になりたい。教育というものは「ゴールのないマラソン」だと思う。授業一つとっても完璧な授業は存在しないわけで、教材研究や授業後の反省を集約して、生徒にとってよりよい授業を問い続けていかなければならない。また、いじめや不登校など現代の教育における問題についても、「何が原因で、どのようにすれば解決するのか」を問い続けていかなければならない。

《一人一人の生徒を大切にせる教師》

文学部・歴史学科 几 恵誓

私は今まで出会った数多くの先生方のように、一人一人の生徒を大切にできる優しい教師になりたい。また、生徒との信頼関係を深めるため、どんな些細なことでも声をかけ、心から頼ってもらえるよう、生徒とのコミュニケーションを大切にしていきたい。

学習活動においては、学ぶことの楽しさや重要性を認識できるような展開を目指した授業づくりをし続けたい。

《気楽に相談される教師》

文学部・文学科 林 慶太

私はどんな生徒にも気楽に相談される教師になりたい。誰にでも同じように平等に明るく優しく接することができる教師を目指している。そうすることで、生徒の人間関係の悩みや将来の夢などを聞いたり、一緒に考えたりすることができる。友人や家族には相談できなくても、「この先生なら安心して相談できる」そう思ってもらえる教師に私はなりたい。勉強を教えるだけが教師の仕事ではない、教師は生徒と共に笑い成長を支援する存在だ。



《学校が好きと思わせられる教師》

文学部・文学科 池田 華奈

私は生徒に「学校が好き」と思わせられる教師になりたい。

私は学校が嫌いになったことがない。しかし、中学校や高校の同級生の中では学校が嫌いと言う人もいた。そのような生徒に学校を好きになってもらえるように、私は親身に寄り添い、些細な変化に気付けるように声を掛けるなどして、学校へ来やすい環境を作りたい。そして、生徒に学校が好きと思えるように充実した学校生活をサポートできる教師になりたい。

《いつまでも学び続ける教師》

文学部・文学科 松本 亜衣奈

私は生徒と共にいつまでも学び続ける姿勢をもった教師になりたい。人に何かを教えるということは、膨大な知識が必要であるということだ。ただ知っているのではなく自分なりに理解し、アウトプットしなければならない。教師としてどこまでも学びに貪欲である姿を生徒に見せることで、手本となり生徒の学習意欲向上にも繋げる。そして、私の授業を受けて一人でも国語がおもしろい、好きだと思ってくれるように努力をし続けられる教師になりたい。

《生徒の思いや考えを汲み取れる教師》

文学部・文学科 山口 水緒

私は、生徒の思いや考えを汲み取る力のある教師になりたい。

生徒には声の大小や表現の得手不得手等の違いがある。私は声が小さい生徒や表現が苦手な生徒の声を聞き逃さないようにしたい。生徒の様子の変化を見逃さず、考えや思いを汲み取り生徒理解に努める。そこから生徒との信頼関係を築き、よりよい授業、学級づくりに活かしたい。

《生徒の横に立つ教師》

文学部・真宗学科 草野 裕紀

私は「生徒の横に立つ教師」になりたい。教師は生徒と対面で接することが多い。言い換えれば生徒と反対を向いている。しかし、私は生徒と同じ方向を向いて物事に対して一緒に考えていきたい。イメージとして対面ではなく、横に立っている仲間として生徒と関わっていきたい。保護者の方も同様に保護者と教師という対面ではなく、共に子どもの幸せと成長を願う一員として接していきたい。

本号では教職を目指す3年生から募集した「こんな先生になりたい」の原稿を掲載しました。この原稿内容は言い換えると「理想の教師像」であり、採用試験の面接でよく聞かれる質問の一つです。単に「先生になりたい」というだけでなく、「どんな先生になりたいか」について考えることは、教職についてより深く考えることにつながり、とても大切なことです。1, 2年生の皆さんも「理想の教師像」をじっくりと考えてみてください。



教員採用試験情報（公立学校）

教員採用試験が変わります！【一次試験の日程】

教員不足解消をねらいとしてここ数年で採用試験が大きく変わろうとしています。

一次試験の日程が早まります。 → 早目の準備が必要！3年生の春から勉強！

以前は、6月中旬～7月下旬であった一次試験の時期が、来年度は1ヶ月程度早くなり、5月中旬～7月中旬にかけて実施される予定です。一般企業の採用時期に合わせようとするものです。

◇来年度 一次試験の日程（11月20日現在で公表済みの自治体のみ）

- ・5月11日、12日 静岡県、静岡市、浜松市
- ・5月12日 茨城県
- ・6月15日 愛知県、名古屋市、岐阜県、三重県
- ・6月16日 滋賀県、福岡県、福岡市、北九州市、佐賀県、長崎県、大分県、鹿児島県、宮崎県
熊本県、熊本市、沖縄県
- ・7月6日 岡山県、岡山市、栃木県
- ・7月7日 東京都、神奈川県、横浜市、埼玉県、山梨県
- ・7月13日 青森県、秋田県、山形県、岩手県、宮城県、仙台市、福島県、香川県

※詳細は各自治体の教育委員会から提供されている情報で確認してください。

教員採用試験が変わります！【3年生でも受験可能】

教員不足解消をねらいとしてここ数年で採用試験が大きく変わろうとしています。

3年生から受験できます。 → 受験できる機会が増えてラッキー！

従来、4年生のみでしたが3年生でも受験可能な自治体が増えてきました。その多くが3年生時点で一次試験（筆記試験等）を行い、合格者は次年度に二次試験のみ受験し合否を決めるものです。4年生での負担を減らして応募者を増やそうとするねらいがあります。一方、受験生側としては、3年生時点で不合格でも4年生で改めて受験できるので合格のチャンスが増えると考えられます。ただ、3年生で受験する場合、当然早くからの受験勉強が必要となるでしょう。本学の3年生では今夏の採用試験において数名が3年生受験して1名が合格（一次試験）しています。

◇来年度 3年生受験が可能な自治体（11月20日現在で公表済みの自治体）

- ・栃木県・山梨県・さいたま市・東京都・茨城県・神奈川県・川崎市・横浜市・相模原市
- ・千葉県千葉市・名古屋市・三重県・福井県・石川県・富山県・京都市・岡山県・岡山市
- ・広島県広島市・香川県・福岡県

※詳細は各自治体の教育委員会から提供されている情報で確認してください。



【速報】令和6年度採用(2023年夏実施)教員採用試験結果(公立学校)

校種	合格名簿 登載人数	内訳(自治体)
小学校	22人	京都市2, 滋賀県11, 大阪府1, 兵庫県1 北海道1, 川崎市1, 千葉県千葉市1 三重県2, 浜松市1, 広島県広島市1
中学校	4人	大阪府1(国語科), 大阪市1(社会科) 大分県1(国語科), 愛媛県1(社会科)
高等学校	1人	滋賀県1(国語科)

アドバイザーはこんなことをしています！

① 教員採用試験に関わる相談対応

例:試験情報、志望自治体の選び方、各種書類の書き方等

② 教員採用試験対策練習

採用試験で実施される論作文や面接等について個別に指導します

③ 学校ボランティアの紹介(主に京都市立学校)

その他、教職に関わることであればどんな些細なことでも相談に応じます。また、以下のような講座やセミナー、説明会等を実施しています。

- ・教職学習会(1、2年生対象)
- ・小論文セミナー(3年生対象)
- ・願書記入説明会(3年生対象)
- ・教員受験対策講習(4年生対象)《有料》

ふるって参加してください。日程の都合がつかない場合でも、後日DVDで視聴できますので教職支援センター事務室で相談してください。

大谷大学では4人体制で教職を目指す学生の皆さんの相談に応じています。気軽に4号館1階教職支援センター事務室内のアドバイザーコーナーに足を運んで下さい。

受験勉強はいつごろから
始めたらいいですか？



アドバイザーの在室時間(昼休み13:00~14:00は除く)

	月	火	水	木	金
須川			12:00~17:00	12:00~17:00	12:00~17:00
桂	10:30~16:00	10:30~16:00	10:30~16:00	10:30~16:00	
美濃部	12:00~17:00		12:00~17:00		12:00~17:00
佐藤	12:00~17:00	12:00~17:00	12:00~17:00		